書 評

DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル

American Psychiatric Association　著
日本精神神経学会　監修
髙橋三郎，大野　裕　監訳
染矢俊幸，神庭重信，尾崎紀夫，三村　將，村井俊哉，中尾智博　訳
医学書院
2023 年 6 月　1,024 頁
本体価格　21,000 円＋税

現代の精神医学の潮流を成すものとして蓄積された知見の活用とスティグマの解消がある．米国精神医学会によって 2013 年に『DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル（Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition）』が出版され，その本文改訂（Text Revision）が 9 年を経た 2022 年に刊行された．そして，その邦訳である本書は本文のみで 930 頁に及ぶ大著となった．DSM-5 の邦訳版は約 860 頁であったので DSM-5-TR とは約 70 頁の違いがあるが，その主な理由として多くの新たな知見が加えられたことがある．また病名においてはスティグマへの配慮が深められることになった．

各疾患の診断基準に続く解説が本書のメインパートであり，「診断的特徴」「有病率」「危険要因と予後要因」「文化に関連する診断的事項」「性別に関連する診断的事項」「自殺念慮または自殺行動との関連」「鑑別診断」「併存症」など多項目についてエビデンスに基づく具体的な情報が加えられた．例として有病率については知見に基づく数値があったり，「自殺念慮または自殺行動との関連」において自殺関連の記述はより詳細になったことで各疾患の特徴が明瞭化されているように思えた．

本書では過去から今日までの膨大な知見の集積の上に立って各疾患を俯瞰するようになっており，ここで評者は「巨人の肩の上に立つ」という表現を連想した．最近の研究活動で頻用されるサイトの 1 つに Google Scholar があるが，そのトップページに「Stand on the shoulders of giants（巨人の肩の上に立つ）」という語が掲げられている．先達の業績や先行研究などを巨人に喩えて，それらの積み重ねの上に新たな視座から研究を進め，新しい知の地平線が開かれることを示す表現である．今回の DSM-5-TR においては精神医学の知見が集積された土台の 1 つとして，日常の臨床業務から新たな学術活動に至るまでの活用が期待される．

日本精神神経学会は 2002 年に 1937 年から使われてきた「精神分裂病」という病名を「統合失調症」に変更したが，このことは「病」という表記から「症」への流れの端緒であったように思う．DSM-5 の訳出にあたり，精神神経学会で組織された「精神科病名検討連絡会」による用語翻訳のガイドラインが作成され，精神疾患に対するスティグマへの配慮から「病」や「障害」から「症」という表現に改められた．DSM-5 から DSM-5-TR への改訂の際の翻訳において大幅に「症」が用いられることになった．特に「精神病」の代わりに「精神症」が用いられているが，今後はこれらの用語が定着することで誤解や偏見がさらに減じていくことが期待される．

DSM-5-TR では DSM-5 に比して診断基準やその構成は変更されてはいないものの，本文改訂にとどまらない点として，新たに「遷延性悲嘆症」の診断基準が加えられており，ICD-10-CM コード（F43.8）との適合が図られた．また，わが国でよく用いられてきた用語である「神経衰弱」や「対人恐怖症」が DSM-5 では「苦痛の文化的概念の用語集」のなかに記載されていたが，DSM-5-TR では「ひきこもり」（Hikikomori）が「苦痛の文化的概念の例」として加えられた．この前後にアタケ・デ・ネルボス（Ataqe de nervos）やカイヤル発作とパニック発作の異同に関する記述があり，文化という人間の営みと精神医学の関連など多面的に理解する必要性を感じた．

ところで，前述の「巨人の肩の上に立つ」は一般には Newton, I. の言葉としても知られている．Newton は 17 世紀のペストの大流行時においてケンブリッジ大学が閉鎖された期間に故郷の町に戻って，思索と研究に没頭して万有引力の法則や微分積分の物理学への適用に関する理論の基礎を築いたと伝えられている．今回の訳出において，COVID-19 感染流行下で静かに作業を進めることができたということが「訳者の序」に記載されている．この度のパンデミックなど逆境とされる環境にあって精神医学の果たすべき役割は小さくはないと思う．本書を元として有意義な臨床活動がなされ，研究面での進展がもたらされることを期待したい．

（谷井久志）

doi：10.57369/pnj.23-141